2 国語編
(1) 第1学年1組 「じどう車ブックをつくろう」

第1学年1組 国語科学習指導案

平成14年11月19日（火）第4校時
指導者 荒海みさ
場 所 多目的ホール

1. 単元名
じどう車ブックをつくろう
教材名 はたらくじどう車

2. 単元について
(1) 児童の実態
本学級の児童は、1年生らしい元気な子どもたちである。
1学期のころは、一人一人がそれぞれに学んでいるという感じであったが、2学期になり、友達とのつながりもできてきて一緒に学ぶ様子もみられるようになってきた。
表現したい内容をなんとか伝えようとする姿も見られ、また一つの事柄に集中できる時間もだいぶ長くなってきた。
児童は、6月に「はなしたない、さきたない」で、相手にわかるように話すことに取り組んだ話す活動を書く意欲へつなげることを意図した活動である。その後「はなしたないことをかきましょう」で短い文が書けるようになってきている。
2学期からは「あのねちょっと」を使って、継続して書くことに取り組んでいる。あのねちょっとの内容は、身近な出来事や一日の中で起こしかったことをを中心に書いている児童が多い。赤ペンで返事を書いてあげたり、ほめてあげたり、みんなの前で読んであげたりすることで意欲化を図るとともに、長音や促音、助詞の使い方について、個別指導している。
読むことでは「かくれているのはに」で、さし絵や写真を手がかりに、説明的文章の基本的な文のパターンを調べたりしたが、言葉や写真などに注意深く目を向け、文章に即して読み取る力は、まだ十分ではない。
読書についてのアンケートの結果によると、全員が本が大好きと答えているが、母親などから読み聞かせをしてくれている児童が多い。10月には読書月間であり、さくらフルームで本を読む児童も増えてきた。また、月2回巡回移動図書館のくるの楽しみにしている児童が多い。

(2) 本単元設定の意図
伝え合う力を支える学習スキルを身につけるために、昨年度まで、スピーチメモ・聞き取りメモを中心に取り組んできた。今年度は、調べメモを生かした授業を取り入れて、さらに、伝え合う力を伸ばしていきたいと考えた。
大切なキーワードを見つける力を身につけていくためには、1年生の段階ではどのようなことができるかと考えた。
教材文「はたらくじどう車」は4種類の自動車のつくりや働きについて書かれたものであり、それぞれの車のつくりや働きが写真や文章によってわかりやすく記述されている読むやすいこと、また、はたらくじどう車について、身近な生活の中でも見ることができ、興味関心が強いことから、この時期に調べる学習の初歩を指導していくと考えた。
指導法の工夫を次のように計画した。
第一次では、単元学習計画表を提示した後、「じどう車ブック」の見本を見せたりし、学習のゴールを明確に、しかも夢しくなるようなオリエンテーションをする。
第二次では、ワークシートを用いながら教材文をていねいに読み、簡単な文章の組み立てを理解させながら、基礎技能の定着を図りたい。
第三次では、学んだことを発展させ、好きなはたらくじどう車を選んで調べる。
教材文の中で車の名前をまるで囲んだり、つくりや働きがわかるところにサイドラインを引いたりしながら、キーワードを中心に単語に注目させ、ワークシートをたんなくんと高度にしていきたい。そして、サイドラインを引いたところにメモがわりに付箋紙を貼っていくことを指導する。この付箋紙は、考えたり考えが自由自在にできること、考え直しときには、また別の言葉に移動して貼ることもでき、1年生の学習では大変効果がある。
そのほか、調べる学習をしているうちに時間が経ち作業が中断されたときには、付箋に本の名前やページを書き込んでワークシートに貼っておけば作業の続きがしやすいなど、これから調べる学習の有効に進める手段として大切に扱う。指導にあたっては各自の課題を把握し、個々の活動に支援をたくさんしようと思う。そのために、他校の蔵書でも学校間 Workoutを利用し、活
用していきたい。（どこ学校から何冊借りたかがわかる本のリストは別紙の通り）
絵本・子ども百科事典などが集まるが、発達段階にあったものを選んで並べてあげるようにしたい。今回は初めての調べ学習であるので、子どもの実態や教師の願いから、単元をオリジナル「どう学ぶ帳」つくるに据えた。

【視点２】言語活動例の具体化
本単元は、言語活動例「C読むこと」「絵や写真などを見て想像を膨らませながら読むこと」自分の読みたい本を探して読むこと）について具体化したものである。具体化については、次のように、5つの言語意識を踏まえて取り組んだ。

△相手意識・・・同じクラスの友達
△目的意識・・・どう学ぶ帳を読むこと、出来上がった作品を自分で考えあなたという目的を意識することにより、きれいに正しく書こうという意欲を高める。
△場面・状況意識・・・どう学ぶ帳を作るという目的のために、自分の持っている絵本や図書に書かれている内容をじっくり読む。
△方法意識・・・キーワードを意識するために、大事なことに付箋を付ける、どう学ぶ帳の書き方を読み取る。見本となる「どう学ぶ帳」を用意し、書き方のヒントを与えるワークシートは、バージョンアップしたものを用意する。
△評価意識・・・自己評価、相互評価、支援計画に基づく教師による評価。（その他都度評価）

【視点３】メモの活用
△１年生としての調べメモ
大事なことに付箋を付ける。車の名前・つくり・はたらく・使い道

【視点４】言葉をみがく教室づくり
△わくわくスピーチと本単元との関連
できあがったどう学ぶ帳の中から、お気に入りのページをみんなの前で紹介する時間を作ることにより、話すことが抵抗なくできると思われる。聞く方も、どんな自動車紹介かを楽しみながら聞くことができる。
△掲示コーナー
写真や絵を貼るコーナーを設けることにより、児童に興味を持たせ、より具体的などう学ぶ帳のイメージをふくらませることができる。出来上がった「どう学ぶ帳」は廊下に並べ、他のクラスの友達にも自由に読んでもらえるようにする。

４．単元の目標
△自動車の働きやつくりに興味を持って教材文や図書や絵本を読み、自分だけのどう学ぶ帳を作ろうとする。（関心・意欲・態度）
△「どう学ぶ帳」の仕組みに気をつけつつ読むことができる。（読むこと）
△自分の好きな自動車を調べてわかったところに付箋をはらうことができる。（読むこと）
△カタカナをじょうずに読み、書くことができる。（言語事項）
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>時</th>
<th>学習活動</th>
<th>学習内容</th>
<th>留意点（）と評価の観点（）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>第一次</td>
<td>○VTR、写真、絵を見たり、働く自動車についての様々な情報</td>
<td>○クイズの内容</td>
<td>「はたらくじどう車クイズ」で、関心を持つさせる</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td></td>
<td>○学習活動の見通しをもつ。</td>
<td>○じどう車ブックの紹介</td>
<td>学習のゴールを明確にするために、一人一人に「学習計画表」を持たせる。</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>第二次</td>
<td>じどう車ブックをつくる。</td>
<td>○バスのつくりと働き</td>
<td>①文章の組み立てを理解し、パスのつくり、働きについて、読み取ることができせる。</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td></td>
<td>○バスについて、じどう車ブックをつくる。</td>
<td>○サイドラインの引き方</td>
<td>②キーワードにまるで囲んだり、サイドラインを引かせたりする。</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>③ワークシートは車の名前つくり、はたらきが書けるようなものにする。</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>③文章の組み立てを理解し、コンクリートミキサー車のつくり、働きについて読み取ることができる。</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td></td>
<td>○ショベルカーについて、じどう車ブックをつくる。</td>
<td>○ショベルカーの車のつくりと働き</td>
<td>③文章の組み立てを理解し、ショベルカーのつくり、働きについて、読み取ることができる。</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>④ワークシートは、車の名前つくり、働きについて、読み取ることができる。</td>
</tr>
</tbody>
</table>
6. 本時の指導

(1) 目標
○ 調べたいじどう車について、すすんで図鑑や絵本、資料などで調べようとする。
○ 使い道や、つくりや働きなど、自分のさがしているところに付箋紙をはることができる。

(2) 展開

| 前時の学習内容 | ○ポンプ車の仕事やつくりを読み取ること。
| | ○付箋紙の貼り方。 |
| 学習活動 | 学習内容 | 評価と支援の工夫（〇）及び指導上の留意点（・） |
| 1. 本時のねらいを確認する。 | ○学習の進め方 |
| | すきなはたらくじどう車をしらべて、じどう車ブックをつくろう。 |
| 2. 手順や方法について聞く。 | 手順や方法 |
| | 図鑑や絵本を使って調べ |

・前時の学習を想起させて、めあてを持って今日の学習に取り組めるようにする。
・教科書に出てくる四つの自動車以外で、紹介したい自動車を一つ決めることを知らせる。
・司書の先生を紹介してから話し合いに入る。

8 9 | ○ポンプ車についてじどう車ブックをつくる。 | ○ポンプ車のつくりと働き |
| | (火事を消すときにつかう) |
| | ホースはしょごをつんでいる |
| | ホースを運ぶ車ものされて |
| | 浴消火栓から水をすいあげて火をけす。 |

●文章の組み立てを理解しポンプ車のつくり、働きについて、読むことができる。
●ワークシートは、ヒントを与えない。感想も入れて書いてよいことを知らせ。
支援計画

○文章に付箋紙をつけることができる子。→意欲が持続できるように賞賛し、じどう車ブック作りをさせる。

○つくりとはたらき、どちらかに付箋紙を→1つ付箋紙をつけることができたことを
種め、もう1つ付箋紙をつけるところはどこか、何度か文章を読んでみよう
指示する。

○どこに付箋紙をつけていいのかわからなくて困っている子。

○本から、つくりやはたらきが見つけたら→「もう一度探してごらん」と声をかけて
活動を見守る。

○本が見つけられない子。 →一緒に本をさがす。

○本から読み取ることが困難な子。 →一緒に読んであげる。

○片付けを始める。

○付箋の貼り直しを確認する。
4. 本時のまとめをする

・本は、あったところにきちんと返すよう指示する。
・「じどう車ブック」作りへの期待がふくらむような学習のまとめをする。

次時の学習内容

○「じどう車ブック」をつくる。
○付箋紙のはり方
○文章のまとめ方

7. 備考  在籍児童数  男子17名  女子17名  計34名
本単元で使用したワークシート